



NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

# 週間市場レポート

(2017年6月19日～6月23日)

マーケットレポート

2017年6月26日

投資情報室

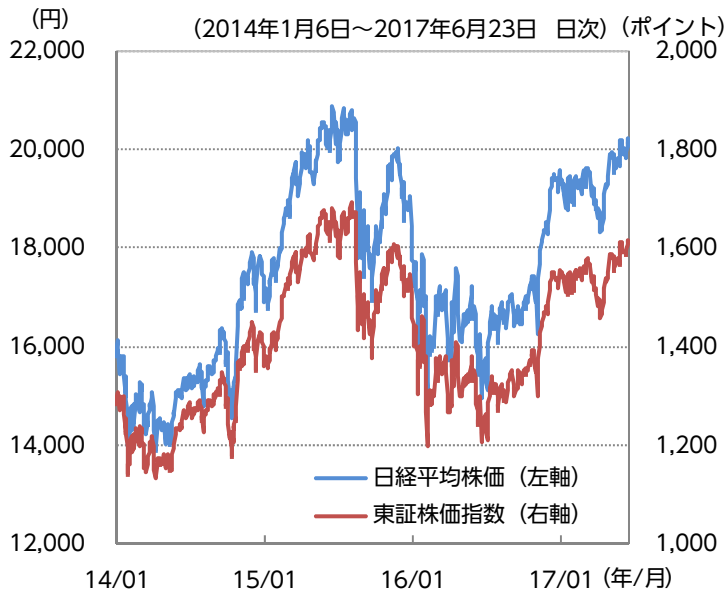
(審査確認番号H29-TB134)

## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。2万円を割り込んで終えた前週末から3営業日続伸し、20日（火）は6月2日以来、約半月ぶりに年初来高値を更新しました。週央は米株安や円安の一服、原油価格の下落等を受けて下落したものの、週末は、為替が円安ドル高に振れたことで、主力企業の輸出採算の改善期待が強まったことから、前日比で小幅に上昇しました。（週末引け値：20,132.67円）

■ 週間では、日経平均株価は0.95%の上昇、東証株価指数は0.96%の上昇でした。

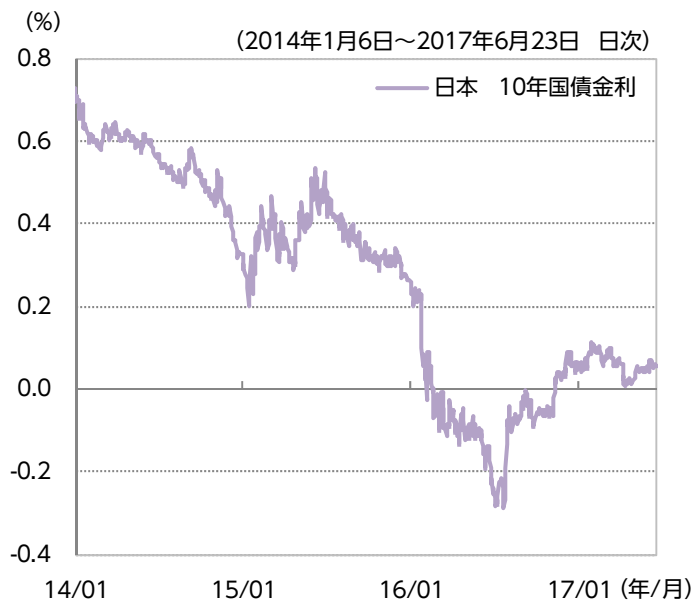


出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました（価格は低下）。米株安や欧米債券安、原油安等を背景に売り買いが交錯したものの、週を通じて横ばいとなりました。（週末引け値：0.057%）

■ 週間では、0.001%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週初は、ここもと売られていた大型IT企業株の反発や、金利上昇を受けた銀行株主導で上昇し史上最高値を更新しました。原油価格の下落を受けてエネルギーセクターを中心に売られる場面もあったものの、目立った材料もなく週末まで概ね横ばい圏で推移しました。（週末引け値：21,394.76ドル）

- 週間ではNYダウは0.05%の上昇となりました。



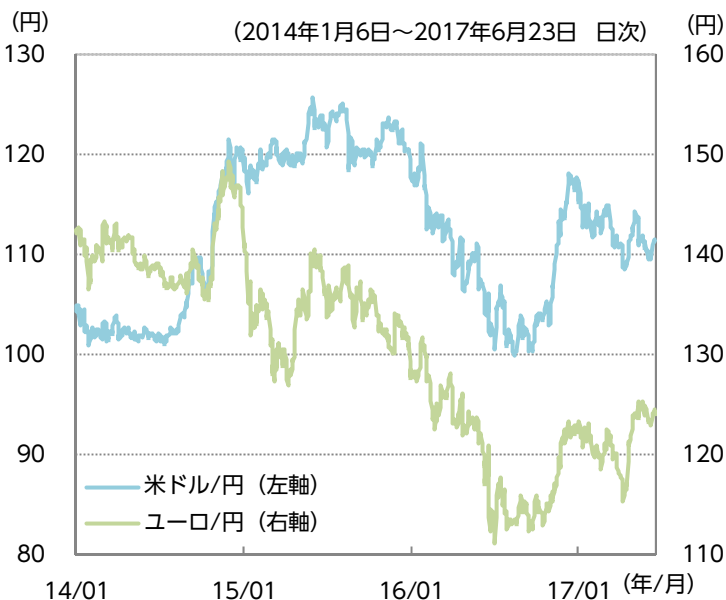
出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週比で小幅に円安/米ドル高となりました。円相場に影響を与える経済指標の発表が少なかったことから、週を通じて小幅な動きとなりました。週末は、米景気に対する懸念がやや後退し、米長期金利が上昇したことなどをを受けて、円売り米ドル買いが優勢となりました。（週末引け値：111円25銭～35銭）

- 週間では米ドル/円は0.36%の円安、ユーロ/円は0.28%の円安となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。